

令和五年度 前期日程
国語
入学者選抜学力検査問題

〔注意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。受験番号・氏名が記載されていない答案は無効となる場合がある。
- 5 この冊子の問題は八ページ、解答用紙は一枚からなっている。
- 6 この冊子のうちに落丁・乱丁、印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 この問題の内容に関する質問には答えない。
- 8 この問題の満点は百点である。文学部日本・中国文学科は四百点に、文学部欧米言語文化学科・歴史学科・和食文化学科および公共政策学部は二百点に換算する。
- 9 字数制限のある解答では、句読点や括弧なども字数に含める。
- 10 試験時間中の退出は認めない。
- 11 問題冊子は持ち帰ること。

一

次の文章をよく読んで、後の問いに答えよ。なお、設問の都合で文章の一部を省略し、表記を改めたところがある。(40点)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

問一 傍線部①、⑤のカタカナについて、楷書の漢字に改めよ。

問二 空欄 A、E には、次のどちらかの漢字が入る。最も適当な漢字を選び、それぞれの記号ア・イで記せ。

ア 孤 イ 個

問三 傍線部 I について、なぜそうした議論は本当は成り立たないのか。「両者」の内容を明らかにしながら、百二十字以内でわかりやすく説明せよ。

問四 傍線部 II について、「会社というものもフィクションだ」とは、どういうことか。六十字程度でわかりやすく説明せよ。

問五 傍線部 III について、なぜそう言えるのか。七十字程度でわかりやすく説明せよ。

二 次の文章は、豊前国の佐伯^{さいき}という人物が、所領問題の裁判のために京都に上り、清水寺で参籠したところ、一人の女房を見かけた場面である。文章をよく読んで、後の問いに答えよ。(30点)

(著作権の関係で不掲載)

(注) ○主ばし……女房の夫。「ばし」は強調の副助詞。 ○興がる……物好きな。 ○舞台……清水寺の舞台。 ○たけまつ……佐伯の従者。 ○広縁……広い縁側。 ○百舌鳥の草ぐき……百舌鳥は鳥の名。百舌鳥の草ぐきは、本来は「春されば百舌鳥の草ぐき見えずとも我は見やらむ君があたりをば」(『万葉集』)からきた歌語。 ○こと尋常に……立派に。

問一 傍線部ア、才を、文脈を考えながら、現代語訳せよ。

問二 二重傍線部の和歌を、「宿のつらさ」の内容を具体的に示した上で、わかりやすく現代語訳せよ。

問三 破線部「見給へ」の主語を、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 佐伯 ② 主^ぬ ③ 女房 ④ たけまつ ⑤ 童

問四 波線部の「百舌鳥の草ぐき」という言い方で、女房はどのようなことを暗示しようとしているのか。具体的に記せ。

問五 この文章と同じく所領問題の裁判のために、都から鎌倉へ下向した人物が執筆した作品は何か。作品名を漢字で記せ。

三

次の文章をよく読んで、後の問いに答えよ。なお、設問の都合で送りなを省略したところがある。(30点)

周敦頤字茂叔、道州營道人。為分寧主簿。有獄久不決、敦頤至、一訊立弁。邑人驚曰、老吏不如也。部使者薦之、調南安軍司理參軍。有囚法不当死、^① 輒運使王逵欲深治之。逵酷悍吏也、衆莫敢爭。敦頤獨与之弁、不聽、乃委手版、將棄官去、曰、如此尚可仕乎。殺人以媚人、吾不為也。逵悟、囚得免。

移郴之桂陽令、治績尤著。郡守李初平賢之、語之曰、吾欲讀書、何如。敦頤曰、公老無及矣、請為公言之。二年果有得。徙知南昌、南昌人皆曰、是能弁分寧獄者、吾屬得所訴矣。富家大姓、黠吏惡少、^② 惴焉不^③ 獨以得罪於令為憂、而又以汚穢善政為恥。歷合州判官、事不經手、吏不敢決、雖下之、民不肯從。部使者趙抃惑於譖口、臨之甚威、敦頤勉之超然。通判虔州、抃守虔、熟視其所為、乃大悟、執其手曰、吾幾失君矣、今而後乃知周茂叔也。

(『宋史』周敦頤伝による)

(注) ○周敦頤……人名。 ○道州管道……地名。 ○分寧……地名。 ○主簿……官名。 ○獄……裁判。 ○部使者……官名。 ○調……召し出す。 選び出す。 ○南安軍……地名。「軍」は地方の行政単位。 ○司理參軍……官名。 訴訟を掌^{つかさど}る。 ○転運使……官名。 地方の最高行政単位である「路」の政務を掌る。 ○王達……人名。 ○深治……厳しく裁く。 ○酷悍……厳しく荒々しいさま。 ○手版……笏^{しやく}。 ○郴……地名。 郴州。 ○桂陽令……官名。 桂陽県の令。 ○郡守……官名。 郴州の長官。 ○李初平……人名。 ○知……県知事。 ○南昌……地名。 ○富家大姓……富貴な人々や権力のある家柄。 ○黠吏悪少……悪賢い小役人やたちの悪い若者。 ○惴惴焉……おそれてびくびくするさま。 ○合州……地名。 ○判官……官名。 長官を補佐した。 ○趙抃……人名。 ○譖口……讒言^{ざんげん}。 ○通判……官名。 州の長官の政治を監督する官。 ○虔州……地名。 ○守……虔州の長官。

問一 波線部 ① ⑤ の読みを、現代仮名遣いにより、送りがなも含めてすべてひらがなで記せ。

問二 傍線部 A を現代仮名遣いにより、すべてひらがなで書き下し文に改めよ。

問三 傍線部 B について、そのようにいう理由を簡潔に記せ。

問四 傍線部 C を現代語訳せよ。

問五 傍線部 D について、

- (1) 現代語訳し、
- (2) そのようにいう理由を簡潔に記せ。